

モーリタニア月例報告  
(2019年4月)

2019年5月  
在モーリタニア日本国大使館

主な出来事

【内政】

- 4月16日 次期大統領選挙日程の確定
- 4月18日 次期大統領選挙：ガズワニ前国防大臣の立候補届提出
- 4月29日 次期大統領選挙：野党候補者2名の立候補届提出

【外政】

- 4月21日 イスマイール外相のパレスチナに関するアラブ連盟非定例閣僚会合出席
- 4月22日 アブデル・アジズ大統領のクウェート訪問
- 4月24日 アブデル・アジズ大統領のエスワティニ王国訪問
- 4月27日 アブデル・アジズ大統領の赤道ギニア訪問

【経済】

- 4月10日－4月11日 アフリカ大陸自由貿易圏に関する国内フォーラムの開催
- 4月11日 モーリタニアの経済状況に関する世銀報告書
- 4月14日 ジャイ経済・財務大臣の世銀及びIMFの春期年次会合出席
- 4月15日－16日 アブドゥ・ダーイム漁業・海洋経済大臣の独・アフリ経済協会との会合出席

【開発協力】

- 4月 2日 平成24年度食糧援助の見返り資金を活用した「食糧保管倉庫整備計画」竣工式への江原大使の出席
- 4月 9日 モーリタニアに対する国連機関を通じた人道支援の決定

【内政】

- 次期大統領選挙日程の確定（4月16日付当地独立系ニュースウェブサイト「アル＝アフバール」）  
モーリタニア大統領府は、4月16日付で、以下のとおり、次期大統領選挙日程に関して発表した。

### 【選挙日程概要】

- 4月16日（火）選挙日程の公示・立候補受付開始
- 5月 8日（水）立候補受付締切
- 5月 9日（木）憲法評議会による候補者名簿暫定版の公表
- 5月22日（水）モーリタニア政府による候補者名簿確定版の公表（以降、立候補取り下げは不可）
- 6月 7日（金）正式な選挙キャンペーン解禁（2週間）
- 6月20日（木）選挙キャンペーン終了
- 6月21日（金）投票準備日（投票当日に警備を行う治安当局関係者はこの日に期日前投票を実施）
- 6月22日（土）第1回投票（投票時間は午前7時から午後7時まで）
- 7月 6日（土）第2回投票（決戦投票）

●次期大統領選挙：ガズワニ前国防大臣の立候補届提出（4月18日付「アル＝アフバール」）

4月18日、ガズワニ前国防大臣が憲法評議会に対し、本年6月に実施予定の次期大統領選挙への立候補届を提出した。なお、本件選挙立候補者は、選挙日程に係る大統領府発表が行われた4月16日以降、5月8日の締切までの期間に、憲法評議会に対し、立候補届を提出する必要がある。今後同評議会は、各候補より提出された立候補届に瑕疵がないか、憲法及び関連法に照らし合わせて確認・審査を行い、5月9日に立候補者名簿の暫定版を公表する見込み。

●次期大統領選挙：野党候補者2名の立候補届提出（4月29日付「アル＝アフバール」）

1 4月29日、ブーバッカル元首相及びピラムIRA代表が、憲法評議会に対し、本年6月に実施予定の次期大統領選挙への立候補届を提出した。同月18日に立候補届を提出したガズワニ候補に加え、現時点での本件選挙立候補者は3名となった。

2 本件選挙立候補者は、選挙日程に係る大統領府発表が行われた4月16日以降、5月8日の締切までの期間に、憲法評議会に対し、立候補届を提出する必要がある。

## 【外政】

●イスマイル外相のパレスチナに関するアラブ連盟非定例閣僚会合出席（4月22日付当地政府系紙「シャアブ」）

1 4月21日、イスマイル外相は、パレスチナの求めに応じてカイロで開催されたパレスチナに関するアラブ連盟非定例閣僚会合に出席した。

2 同外相は、同会合において行ったスピーチの中で、パレスチナ問題に対するモーリタニアの立場は一貫している旨強調するとともに、イスラエルによるパレスチナ領土の不法占領を終わらせ、また、国際場裡における関連する決定に基づき、パレスチナ人の全ての権利を回復させるため、モーリタニアはあらゆる手段を用いてパレスチナ人を支持すると述べた。

●アブデル・アジズ大統領のクウェート訪問（4月23日付当地政府系紙「オリゾン」）

1 4月22日、アブデル・アジズ大統領及びシェイク・サバーハ・アル・アフマド・アル・ジャービル・アル・サバーハ首長（以下、サバーハ首長）出席の下、イスマイル外相及びカマラ環境・持続可能な開発大臣は、シェイク・サバーハ・ハーリド・アル・ハマド・アル・サバーハ・クウェート副首相兼外相（以下、サバーハ・ハーリド副首相兼外相）及びマリヤム・アル・アキール・クウェート経済担当国務大臣と共に、両国間の2つの協力協定及び2つの覚書に署名した。

### （1）今回署名された協定

ア 報道分野、政策分野及び情報部門の政府代表団の訪問による交流の強化に係る協力協定

イ 文学、映画、古文書を含む図書分野等の芸術文化開発協力に係る協力協定

### （2）今回署名された覚書

ア 交流活動、外交協力、人権、国際経済分野並びに外交官教育等の共同プログラム始動に係る覚書

イ 持続的開発及び環境分野、特に空気汚染や開発による環境への影響に関する研究調査等の協力をはじめとする環境及び環境保護に係る覚書

### 2 アブデル・アジズ大統領のサバーハ首長主催の昼食会への参加

同日、アブデル・アジズ大統領は同大統領夫人と共に、サバーハ首長主催の昼食会に参加した。同昼食会は、公式表敬訪問行事の一環として開催され、両国政府の要人が参加した。

### 3 アブデル・アジズ大統領が行ったバイ会談

#### （1）サバーハ首長殿下

#### （2）シェイク・ナーセル・サバーハ・アル・アハマド・アル・ジャービル・

アル・サバーハ第一副首相兼国防相

(3) サバーハ・ハーリド副首相兼外相

(4) イーサー・アフメド・アル・カンダリー国民議会議長代行

4 アブデル・アジズ大統領のシェイク・ジャービル・アル・アフメド文化センター訪問

(1) 同日、アブデル・アジズ大統領は、公式訪問の一環として、クウェート・シティにあるシェイク・ジャービル・アル・アフメド文化センターを訪問した。同大統領は、最も近代的な価値規範に基づいて実現した知識やクウェート文明の文化及び建築的特徴に関して質問をするとともに、クウェートの歴史地区の貴重な建築物やその成り立ち等の説明に耳を傾けた。また、同大統領は、同センターにおいて記帳を行い、クウェートの人々の独創性、創造性、この創造を反映したクウェートの文化及び建築物に対する強い感心を示すとともに、本物の個性を保持しながら、繁栄の実現とデジタル化の進歩を実行していくという指導者の決意を示した。

(2) 同センターは、サバーハ首長により、2015年に構想され、2016年10月31日に竣工。構想から1年10か月で完成した同センターは、4つのオペラ劇場及びミュージカルセンター、会議センター、歴史文書図書館を有する。

●アブデル・アジズ大統領のエスワティニ王国訪問（4月24日付当地政府系ニュースウェブサイト「モーリタニア通信（AMI）」）

1 4月24日、エスワティニ王国訪問中のアブデル・アジズ大統領は、ムスワティ三世エスワティニ国王と会談を行った。同会談におけるスピーチは以下のとおり。

(1) 2018年7月に、ヌアクショットにて開催された、第31回AU首脳会合へのムスワティ三世エスワティニ国王の出席に対し、感謝する。同国王の参加は、同会合の成功への多大なる貢献であり、モーリタニア国民に非常に素晴らしい印象を残した。

(2) 南部アフリカ開発機構（SADC）議長として同国王が実現した功績が示すように、南アフリカ地域のみならずアフリカ大陸において、同国王が担ってきた重要で卓越した役割を称えたい。

(3) 文化的真正性や文明、先祖伝来から続く伝統を保持しつつ、国家の近代化と発展を進める（国王の）意志を称賛する。

(4) 今次訪問は、二か国間の友好関係及び地域的そして国際的協調、さらには農業及び畜産、エネルギー、環境分野における経済協力開発の強化を反映するものである。

(5) 右分野の重要性及び食料安全の実現、開発と進歩の推進を考慮し、モーリタニア共和国は、砂漠化の抑制及び有害な影響の防止、生態系の保全、生物多様性の回復を目的とした環境戦略を採用しており、持続可能で適切なエネルギーを優先しつつ、エネルギー資源の多様化を図る、農業及び牧畜資源の開発のための努力を行ってきた。

2 同日、エスワティニ王国ロゼッタ王宮にて、アブデル・アジズ大統領及びムスワティ三世エスワティニ国王出席の下、イスマイル外相はドラドラ・エスワティニ外務・国際協力大臣と共に、モーリタニア・エスワティニ王国二国間協議に係る覚書に署名した。

●アブデル・アジズ大統領の赤道ギニア訪問（4月29日付「シャアブ」）

4月27日、エスワティニ王国訪問を終えたアブデル・アジズ大統領が、赤道ギニアを訪問し、ンバゾゴ同大統領と会談を行った。同会談では、モーリタニア・赤道ギニア二国間関係強化の方途につき協議された。

【経済】

●アフリカ大陸自由貿易圏に関する国内フォーラムの開催（4月11日付「オリゾン」）

1 4月10日、当国商業・工業・観光省は、ヌアクショットにおいて、国連アフリカ経済委員会と共催で、アフリカ大陸自由貿易圏（AfCFTA）に関する国内フォーラムを開催した。同フォーラムは、アフリカ大陸自由貿易圏を周知するとともに、アフリカ諸国に対する投資促進のための市場統合、AU域内貿易におけるパートナーシップ強化、AU加盟国の産業育成等をはじめとする地域及び国内の目標達成のためのAfCFTA協定を実施するための国家戦略事業の具体化に取り組むことを目的としている。

2 同日、同フォーラム開催式において、アリヤ・ミント・マンクース商業・工業・観光省次官は、2012年のAU総会において、アフリカ・アジェンダに即した形でアフリカの包括的發展に貢献することを目的としたアフリカ大陸自由貿易圏を2018年までに立ち上げるべく、手続きを加速化することが決定したと言及した。また、アフリカ大陸自由貿易圏が、AU加盟国、AU加盟国の国民、アフリカ国籍企業及び他国籍企業、さらには、経済市場と世界の諸国にとって、巨大な機会であり続けると述べた。

3 国連アフリカ経済委員会代表のスレイマン・アブダッラー博士は、アフリカ自由貿易圏が二国間貿易を強化し得る巨大な場であるとし、同貿易地域の重大性を強調した。同博士は、この合意によって、アフリカ企業が更に競争力を持ち、国内消費を潤すだけでなく、中産階級の需要に応え、（アフリカ）大陸

をより魅力的なものにすると述べた。さらに、同博士は、同地域の経済的影響について、国連アフリカ経済委員会の予測によると、アフリカ自由貿易圏が、アフリカ諸国間の商業（取引）を50%以上増加させ、アフリカ大陸のGDPは400億米ドル、輸出額は550億米ドル増加すると発表した。

4月11日開催の同フォーラムにおいて、同博士は、民間セクターに対し、アフリカ大陸自由貿易圏を活用するために必要な役割を果たすよう呼びかけるとともに、行政手続きを軽減し、また「Doing Business」のランクを向上させるために、エネルギー及び鉱物資源といった鍵となるセクターの強化を図るICTの活用を通じた革新的なファイナンス・メカニズムを導入する等、国連アフリカ経済委員会とモーリタニア政府間での多様な協力に関して言及した。

●モーリタニアの経済状況に関する世銀報告書の発表（4月11日付当地独立系ニュースウェブサイト「クリデム」）

4月11日、世銀が発行したモーリタニアの経済状況に関する報告書は、過去5年間に、モーリタニア政府が受けた投資のための融資額が、累計約900億ウギア（21億8千万ユーロ相当）に及ぶと発表した。同報告書によると、公的投資は国家予算の40%以上を占めており、モーリタニアの全体の投資の25%以上となる。この公的投資は、既に多額な負債を更に増加させているだけでなく、莫大な国家予算を編成しているにもかかわらず、4.3%という非常に低い成長率しかもたらししていない、として（モーリタニアの）公的投資マネージメントのサイクル管理における構造的問題を指摘している。さらに、同報告書は、このような状態が、モーリタニアの公共事業におけるポートフォリオの経済収益や有効性に悪影響を与えていると結論づけている。ただし、世銀の拡大クレジット・ファシリティー（ECF）により、モーリタニアはかつてないほどの負債を抱えることとなり、国連アフリカ経済委員会の報告書の中でハイリスクだと指摘されている点に留意しなければならない。現政権は、6月に選挙で形成される新しい政権に重荷を残すこととなる。

●モーリタニアの経済状況に関する世銀報告書の発表：ジャイ経済・財務大臣コメント（4月16日付「オリゾン」）

1 4月14日、ジャイ経済・財務大臣は、ワシントンで開催されている世銀及びIMFの春期年次会合の最終日において、モーリタニアの経済状況について説明した。同発表には、ハフェド・ガネム（Mr. Hafedh GHANEM）世銀副総裁（アフリカ地域担当）をはじめとする世銀及びIMFのハイレベルが参加した。

2 同大臣は、経済・財務政策の基本方針やモーリタニア政府が実施した重要

な改革やその成果，並びに右分野の結果，さらには経済・財政に関わる全ての分野における進歩，見通し及び課題に言及しながら，国際経済情勢の構造的な問題の中にあっても，モーリタニアが輝かしい成果を出すことができた点を強調した。

3 また，同大臣は，モーリタニアの経済成長率は6%以上を記録し，今後3年間は同レベルを維持できる見通しであるとのIMFによる見解を強調した。

4 同大臣の発表では，公的財政改革及び予算改革，国内資源の動員，公的投資事業，ビジネス環境改善，官民連携促進等の数々の改革が導入されたことによって，過去数年間に，モーリタニア経済が達成してきた様々な実現例が紹介された。

5 経済・財務分野においてモーリタニアが上げた成果を評価し，世銀は，今後，モーリタニアに対する第3次予算支援を実施する。

●モーリタニア漁業に現状についてのアブドゥ・ダーイム漁業・海洋経済大臣の発言（4月16日付当地独立系ニュースウェブサイト「サハラ・メディア」）

1 4月15日及び16日に，アブドゥ・ダーイム漁業・海洋経済大臣は，独代表団との間で開催された会合において，モーリタニア零細漁業分野において，零細漁業船の登録数が9,000隻を超え，同分野における雇用機会が増加していると述べた。同会合は，独・モーリタニア間の協力関係強化を図ることを目的として開催され，独代表団には，500以上の企業から構成される独・アフリカ経済協会（association economique germano-africaine）会長や社長，研究所長等が参加した。

2 同大臣は，「漁業分野における開発国家戦略：2015－2019」について言及するとともに，本年に完了する同戦略において，国立海洋調査研究所（IMROP）が研究の一環として実施してきた，水産物の追跡及び監視により，水産資源の保護分野においての重要な成果を残したと述べた。

#### 【開発協力】

●食糧援助の見返り資金を活用した「食糧保管倉庫整備計画」竣工式への江原大使の出席

4月2日，江原大使は，平成24年度食糧援助の見返り資金を活用した「食糧保管倉庫整備計画」の竣工式に参加した。本見返り資金により建設された食糧保管倉庫の収容量は3万トンに及び，モーリタニア最大の収容量となる。



●モーリタニアに対する国連機関を通じた人道支援の決定

4月9日、江原大使は、当地経済・財務省にて、モーリタニアに対する当地国際機関を通じた人道支援の決定を発表するための記者会見を実施した。日本政府は、ンベラ難民キャンプのマリ難民及び同キャンプ周辺地域のモーリタニア人受入れ住民への人道支援のために、平成30年度補正予算から総額385万米ドルを国連機関（5機関）に拠出する。



(了)